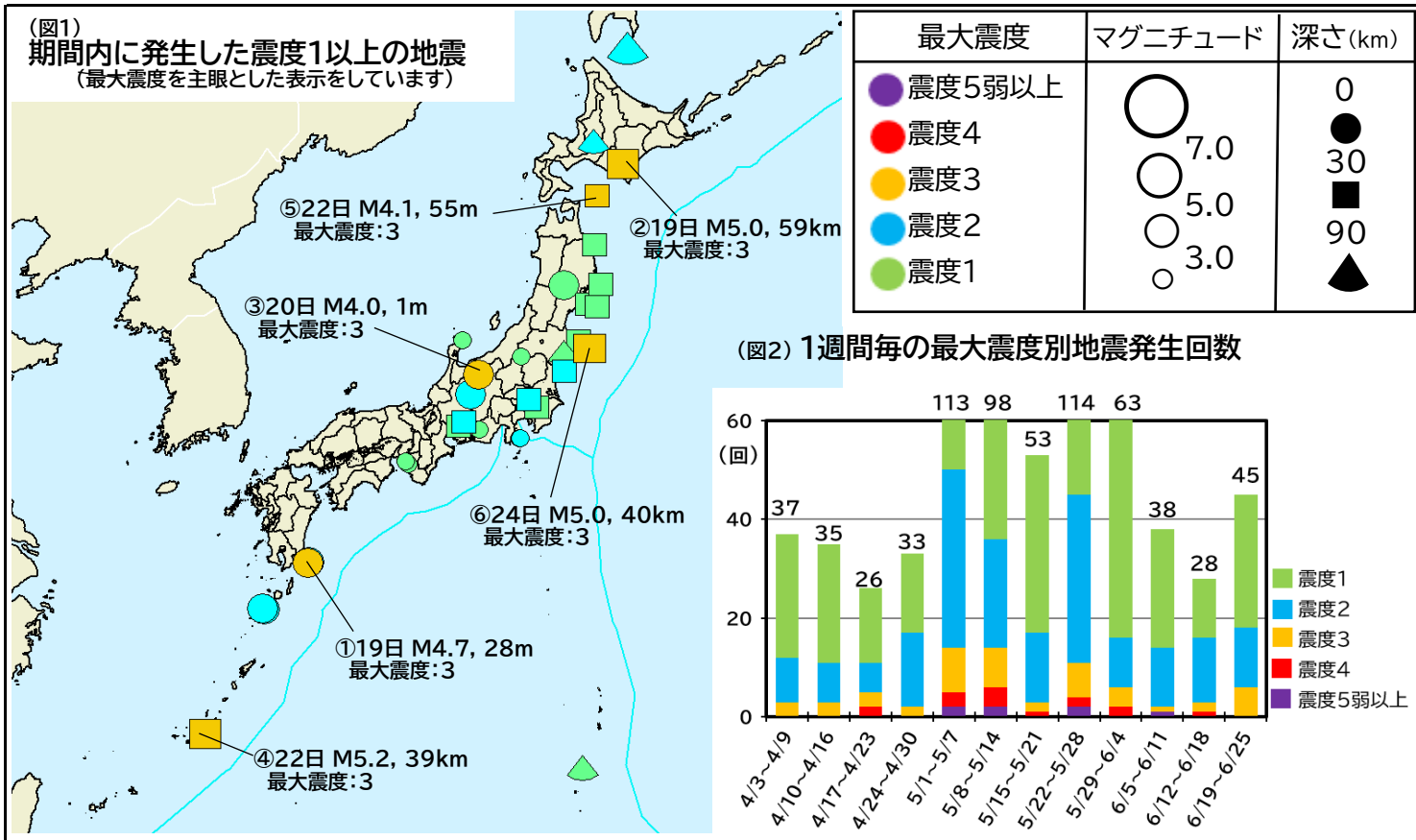


この期間の最大震度は3

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)



主な地震の発生状況 (図1,図2参照)

- この期間、震度1以上の地震が45回発生。最大震度は3。 ■
- ① 6月19日01時58分に大隅半島東方沖で発生した地震(M4.7、深さ28km)により、宮崎県宮崎市と日南市で震度3を観測したほか、九州南部で震度2~1を観測。
- ② 6月19日13時50分に十勝地方南部で発生した地震(M5.0、深さ59km)により、北海道浦河町、幕別町、浦幌町、広尾町で震度3を観測したほか、北海道、青森県、岩手県で震度2~1を観測。
- ③ 6月20日20時10分に長野県北部で発生した地震(M4.0、深さ1km)により、長野県大町市で震度3を観測したほか、同県内で震度2~1を観測。
- ④ 6月22日10時24分に沖縄本島近海で発生した地震(M5.2、深さ39km)により、沖縄県名護市、沖縄市、うるま市、座間味村など沖縄本島の広い範囲と慶良間列島で震度3を観測したほか沖縄県北部と奄美群島の南部で震度2~1を観測(トピックス参照)。
- ⑤ 6月22日16時39分に青森県東方沖で発生した地震(M4.1、深さ55km)により、青森県東通村で震度3を観測したほか、北海道から岩手県にかけて震度2~1を観測。
- ⑥ 6月24日09時58分に福島県沖で発生した地震(M5.0、深さ40km)により、福島県大熊町で震度3を観測したほか、岩手県から千葉県にかけて震度2~1を観測。

トピックス

■ 沖縄本島近海の地震 ■

・図3に示した沖縄本島近海で目立つ地震活動は、沖縄本島北西沖と南東沖の琉球海溝付近の活動です。

・最近の沖縄本島北西沖の活動としては、2022年1月から活動が活発となり翌年半ばまで続き、最大規模は6月3日のM5.9の活動があります。

・また、最近の沖縄本島南東沖の活動としては、2023年4月27日から地震活動がやや活発になり同年5月1日に発生したM6.4の地震があります。

・22日の地震が発生した沖縄本島近海では、M4~5程度の地震は発生しているものの、歴史の資料によって知られている被害地震は少なく、1909年に発生した地震(M6.2)により、那覇、首里などの沖縄島南部で1,000ヶ所以上の石垣が崩壊し、十数名の死傷者が生じたとの記録がある程度です(地震調査委員会資料を一部編集)。

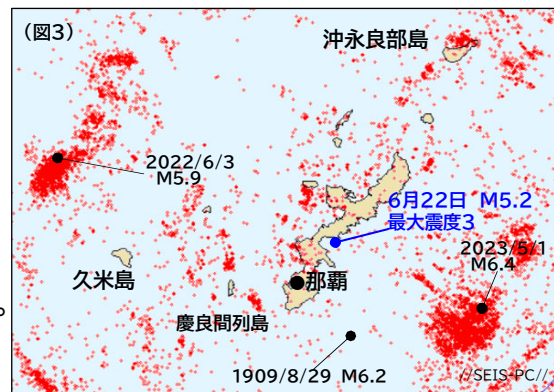


図3: 沖縄本島近海の震央分布図 1997年10月1日~2023年6月25日 M \geq 2.5